

加勢にあれば、世界を動かす力になる。

JICA国際協力中学生・高校生

エッセイコンテスト 2023

テーマ

「地球に生きる私たち
～未来へつなげるために～」

募集期間

6/7 水



9/13 水

必着

<最優秀賞・優秀賞>

約1週間の
海外研修

<審査員特別賞・国際協力特別賞 他>
フェアトレード商品等

応募された方全員へ参加賞を差し上げます。



主催：
独立行政法人国際協力機構（JICA）



後援：

外務省、文部科学省、世界銀行東京事務所、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、全国国際教育研究協議会、日本私立中学高等学校連合会、読売新聞社、産経新聞社、認定特定非営利活動法人開発教育協会、NHK、各都道府県教育委員会及び政令指定都市教育委員会、各都道府県青年海外協力隊OB会



協賛：日本航空株式会社、全日本空輸株式会社
株式会社スクールパートナーズ

協力：株式会社日刊県民福井、上毛新聞社
※後援、協賛、協力各団体・企業は一部予定を含みます。

高校生新聞

photo: JICA/ Shinichi Kuno

応募要項

テーマ 地球に生きる私たち ～未来へつなげるために～

募集
期間

6/7 水 ▶ 9/13 水 ※必着

応募規定

- ＜中高共通＞・作品は自分の考えや体験等をエッセイとして応募者本人が自ら書いたものであり、盗作や不適切な引用等をしておらず、他のコンクール事業等で発表していないものとします。他の類似コンクール等に応募した作品は既発表とみなします。
- ・**原稿用紙に題名、学校名、氏名、学年を必ず記入すること**（エッセイ本文の字数には含みません）。
- ・応募書類に不備（記入漏れ、未提出など）がある場合は審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください。
- ・作品は日本語のものに限る。 ・1人1作品のみ応募可。 ・**2B以上の鉛筆等で濃く書いてください。**

【注意事項】

- 盗作等が疑われる作品は、エッセイコンテスト運営事務局において選考から除外する可能性があります。
- 盗作等による著作権侵害の争いが生じて、JICAは責任を負いません。
- 受賞後、募集要項の規定に反すると判断された場合には、受賞を取り下げる可能性があります。

※応募者の年齢は、満20歳まで（2003年4月2日以降に出生の方）とする。

※JICA地球ひろばHP内「よくある質問」ページに、応募規定や応募方法について詳細を掲載しています。あわせてご確認ください。

- ＜中学生の部＞・応募時点で中学生であること。 ・文字数:本文1,200字以内（400字詰原稿用紙3枚以内）。
※題名、学校名、氏名、学年は字数に数えません。※句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白は所は字数として数えます。

- ＜高校生の部＞・応募時点で高校生であること。 ・文字数:本文1,600字以内（400字詰原稿用紙4枚以内）。
※題名、学校名、氏名、学年は字数に数えません。※句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白は所は字数として数えます。

応募方法

*ウェブでの応募も可能です。ウェブ応募はこちらから：



個人単位で応募される方

[個人応募書類①応募用紙] [個人応募書類②アンケート用紙] の書類計2枚に、それぞれ必要事項をご記入の上、作品と一緒に下記応募先まで送付してください。

学校単位で応募される方

※学校応募以外はすべて個人応募となります

[学校応募書類①応募用紙] [学校応募書類②アンケート用紙] [応募者名簿(応募者全員の氏名が書かれたもの・様式自由)] の書類計3枚にそれぞれ必要事項をご記入の上、作品と一緒に下記応募先まで送付してください。

賞

中学生・高校生各

評価のポイント

世界や途上国の課題(SDGsを含む)に対する理解、解決のための提案・行動を重視し、総合的に評価します。

最優秀賞 3名

- ・独立行政法人国際協力機構理事長賞 1名
- ・外務大臣賞 1名
- ・文部科学大臣賞 1名

優秀賞 3名

審査員特別賞 4名

国際協力特別賞 10名

国内機関長賞

佳作、青年海外協力隊OB会会長賞

学校賞

60作品以上の応募、または全校生徒の3割以上の応募があった学校。

特別学校賞

学校賞を長年に渡り連続して受賞し、多数の応募をしてきた学校。

＜海外研修について＞

- 海外研修は、これまで日本航空株式会社及び、全日本空輸株式会社にご協力いただいております。
 - 海外研修は、2024年8月上旬頃実施予定です。研修地のJICAプロジェクト訪問や現地の人たちと交流を行います。
 - 現地の治安状況や感染症の影響等によっては、海外研修の延期もしくは中止となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
 - 当方が指定する日程で、入賞者の方のご都合で参加いただけない場合は、第三者への譲渡、貸与、次年度への振替等はできません。
- ※過去の海外研修参加者のフォトエッセイは、JICA地球ひろばホームページからご覧になれます。

入賞発表

2023年12月下旬頃にJICA地球ひろばHPにて発表します。

審査員長



中学生の部
尾木直樹氏

教育評論家／法政大学名誉教授



高校生の部
星野知子氏

女優／エッセイスト

応募先

〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-24-1 遠山ビル3F
「JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023事務局」

問い合わせ先

公益社団法人 青年海外協力協会内 JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト全国運営事務局

TEL: 0265-98-0445 (直通)

メールアドレス: jica.essay-oubo@joca.or.jp

JICAエッセイコンテスト

検索

<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html>

詳細は JICA 地球ひろば HP をご覧ください



著作権について

著作権は募集者であるJICAに帰属するものとし、応募作品は返却いたしません。入賞者の学校名、氏名、作品名は、作品集、ホームページ等に掲載いたします。

個人情報の取り扱いについて

応募いただいた個人情報は、当機構にて厳重に管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。ただし、当機構との間で機密保持契約を締結した第三者に対し、このエッセイコンテストに関する業務を委託する場合があります。その使途としては、当コンテストの受賞通知、賞品発送及びJICAが行う開発教育支援事業の案内のみといたします。

テーマ

地球に生きる私たち～未来へつなげるために～

私たちは、「誰と／何と」同じ地球に生きているのでしょうか？家族、学校の友達、地域の人々、もう少し視野を広くすると、近くに住む外国人や留学生、そして他の国の人たちとも生きています。はたまた視点を変えると、動物や植物と同じ地球に生きています。

そんな地球に生きる私たちにとって、「何を」未来につなげていくことが大切なのでしょうか。そして、そこにはどういった課題があり、私たち一人ひとりができることは何でしょうか。

学校で学んだSDGs、地域に住む外国人や留学生の存在、テレビのニュースで見た世界の災害や紛争等、「誰と／何と」同じ地球に生き、「何を」未来へつなげていく必要があるか。考えるきっかけは沢山あります。皆さんの普段何気なく口にしてしている食べ物や着ている服からも、考え、行動するヒントは見つかるかもしれません。

是非、皆さんの身近なところから、大切なものを未来へつなげるために自分ができることを見つけてみてください。

JICAは、国際協力を行う日本の政府機関であり、開発途上国の人づくり・国づくりに従事しており、その経験を活かして、本コンテンツを含む国際理解教育・開発教育支援事業を様々行っています。

先生・生徒のお役立ちサイト

JICA地球ひろばでは、国際理解教育・開発教育の実践および一層の充実を目指す教員の皆さまのために、様々な情報を提供しています。国際理解教育に関する授業の指導案や実践事例・教材・国際社会の情報等を掲載していますので、ぜひご利用ください。



写真提供：谷本 美加 / JICA 渋谷 教志 / JICA

JICA 地球ひろば 先生

検索



<https://www.jica.go.jp/hiroba/teacher/index.html>

国際理解教育のための教材

JICAでは、国際理解教育や総合的な学習の時間に役立つパンフレット等の教材を作成し、無料で提供しています。世界の課題を手軽に学べるように、授業ですぐ使える教材もありますので、是非、ご利用ください。



国際理解教育や参加型手法を学び、学校の授業に活用したい

教員向け



生徒に直接、世界の現状やグローバルな課題を理解させたい

生徒向け



開発教育指導者研修

国際理解教育・開発教育に関心のある教員の方々、NGO等を対象に、研修を実施しています。地域に根付いた研修から、教材の作成と活用方法、参加型学習の手法等、実践的な手法を学びます。



国際協力出前講座

開発途上国の実情や日本との関係、国際協力について、JICA海外協力隊経験者等を講師として紹介します。毎年全国で約1,500件以上、約15万人が受講しています。



教師海外研修

国際理解教育・開発教育に関心のある教員の方々を対象に、開発途上国を訪問し研修を行います。途上国が置かれている現状や国際協力の現場、開発途上国と日本との関係に対する理解を深め、その経験をもとにした教材作成や授業実践の報告会を含むプログラムです。毎年全国で約170名の教師が世界各国で研修を行っています。



JICA施設訪問

出前講座では講師が学校等へ訪問しますが、その逆に学校の生徒等のグループをJICA国内拠点にお迎えし、施設案内や出前講座と同様の講座等を実施しています。



JICA地球ひろば

世界が直面する多くの課題を、体験型展示で学ぶことができます。展示を通して、途上国の現状や、世界と私たちのくらしとのつながりを知り、「私たちとできること」を考えます。東京(市ヶ谷)、愛知(名古屋)、北海道(札幌)の3カ所にあります。



エッセイコンテスト

国際理解の授業後の課題や探求的学習、調べ学習、夏休みの宿題としてご利用ください。

2022年度学校応募数

中学校：600校 高校：284校



各事業の詳細は最寄の国内拠点、もしくは各都道府県にいるJICA窓口の国際協力推進員

JICA国際協力推進員

検索

にお問合わせ願います。

独立行政法人国際協力機構（JICA）国内拠点＜管轄及び連絡先＞

JICA 北海道 (札幌)	北海道 (道央・道北・道南)	011-866-8333
JICA 北海道 (帯広)	北海道 (道東)	0155-35-1210
JICA 東北	青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県	022-223-5151
JICA 二本松	福島県	0243-24-3200
JICA 筑波	茨城県 栃木県	029-838-1111
JICA 東京	群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県	03-3485-7051
	長野県 (JICA駒ヶ根の施設訪問を除く)	
JICA 横浜	神奈川県 山梨県	045-663-3251
JICA 駒ヶ根	長野県 (JICA駒ヶ根の施設訪問のみ)	0265-82-6151

JICA 北陸	富山県 石川県 福井県	076-233-5931
JICA 中部	静岡県 岐阜県 愛知県 三重県	052-533-0220
JICA 関西	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県	078-261-0341
	奈良県 和歌山県	
JICA 中国	鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県	082-421-6300
JICA 四国	徳島県 香川県 愛媛県 高知県	087-821-8824
JICA 九州	福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県	093-671-6311
	大分県 宮崎県 鹿児島県	
JICA 沖縄	沖縄県	098-876-6000

学校単位で応募される
際にお使いください

学校応募書類①

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023

応募用紙（学校）



※必ず右項目をご確認の上、
チェックをお願いします

- ☐ 作品に題名、学校名、氏名、学年が記載されている
- ☐ 作品は未発表である*1
- ☐ 作品は生徒の自作で盗作等ではない*1
- ☐ 一人一作品の応募であり、ウェブでの申し込みと併用をしていない
- ☐ 学校応募書類①②のすべての欄を記入し、**応募者名簿（様式自由）**とともに同封している
- ☐ 作品をホチキスで留めている（縦書き：右肩上、横書き：左肩上）
- ☐ 封筒またはダンボール箱に応募作品数が記載されている

部 門	中 学 ・ 高 校			該当するものに○をつけてください
学校住所	ふりがな 〒 - - 都 道 府 県			
学校名 (正式名称)	ふりがな	担 当 教員名	ふりがな	
	記入例：〇〇県立〇〇高等学校 学校法人〇〇 〇〇中学校 ※賞状、HP等掲載時の表記となります。 正式名称をご記入下さい。	担当教員 メールアドレス *2		
学校電話番号	☎ - -	FAX番号	- -	
応募作品 総 数	作品	全 校 生徒数	名 ※学校賞の授与のために必要となりますので、必ず全校生徒 数をご記入ください。応募人数ではありません。	
担当学年	年	担当教科	国語・英語・社会・理科・総合 その他（ ）	

*1 作品は、自分の考えや体験等をエッセイとして応募者本人が自ら書いたものであり、盗作や不適切な引用等をしておらず、他の類似コンクール等で発表していないものとします。他の類似コンクール等に応募した作品は既発表とみなします。

*2 受賞連絡、開発教育支援事業など JICA 事業に関する取り組み紹介やご相談の際に使用させていただくことがございます。

★本用紙はコピーして使えます。

★JICA 地球ひろばのウェブサイトからもダウンロードできます。
(<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html>)

★作品の受領証は発行いたしません。



学校単位で応募される
際にお使いください

学校応募書類②

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023

アンケート用紙（学校）

エッセイコンテストについて

これまでにエッセイコンテストに応募したことがありますか（該当する番号に○を付けてください。）

- 1 今回が初めて
- 2 過去1～3回程度
- 3 それ以上

他のコンテストと比べてよい点、改善すべき点があれば教えてください。

()

応募動機

応募した理由は何ですか（複数回答可）

- 1 授業の一環として（教科：)
- 2 特別活動の一環として（具体的な活動内容：)
- 3 夏休みの課題として＜・必須課題 ・選択課題＞
- 4 コンテストの主旨やテーマが興味深かったから
- 5 副賞が魅力的だったから
- 6 文字数が適切だったから
- 7 エッセイの書き方ワークシートが活用しやすいから
- 8 その他()

広報媒体

エッセイコンテストをどのように知りましたか（複数回答可）

- 1 ポスター、チラシ、優秀作品集を見て＜・学校で ・その他()＞
- 2 新聞・雑誌を見て＜・読売新聞 ・読売中高生新聞 ・産経新聞 ・高校生新聞 ・その他新聞 ・その他()＞
- 3 Web を見て
＜・産経新聞 ・高校生新聞 ・その他新聞 ・公募情報サイト ・Yahoo ニュース ・JICA ホームページ ・その他()＞
- 4 SNS を見て＜・LINE ・Twitter ・Facebook ・その他()＞
- 5 同僚や上司からの紹介／引き継ぎ
- 6 JICAの国際協力出前講座や施設訪問の際に紹介されて
- 7 過去に応募したことがあった
- 8 その他()

JICAエッセイコンテストの活用状況

エッセイコンテストを活用するにあたり、事前・事後授業の有無、学習にあたって配付したもの等がある場合は教えてください（複数回答可）

- 1 事前授業／学習の実施（教科：)
- 2 事後授業／学習の実施（予定）（教科：)
- 3 参考図書・資料の配布／紹介・過去の受賞作品の配布（どのようなものですか：)
- 4 エッセイの書き方ワークシート の配布
- 5 その他()
- 6 事前・事後授業や学習にあたっての配布物は準備していない。

学校単位で応募される
際にお使いください。

※様式自由

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023
応募者名簿

都道府県名【 】

1枚で足りない場合には、コピーしてご利用ください。なお、既存のクラス名簿を添付することも可能です。

応募作品総数	計	作品	応募者名簿 枚数	枚目／ 枚中
				●本用紙を複数使用する場合ご記入ください
学校名 (正式名称)			担当教員名	

	氏 名	学 年
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		

	氏 名	学 年
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		
35		
36		
37		
38		
39		
40		

個人で応募される際にお使いください

個人応募書類①

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023

応募用紙（個人）



※必ず右項目をご確認の上、
チェックをお願いします

- ☐ 作品に題名、学校名、氏名、学年が記載されている
- ☐ 作品は未発表である*1
- ☐ 作品は自作で盗作等ではない*1
- ☐ 一人一作品の応募であり、ウェブでの申し込みと併用をしていない
- ☐ 個人応募書類①②のすべての欄を記入し、同封している
- ☐ 作品をホチキスで留めている（縦書き：右肩上、横書き：左肩上）

部 門	中 学 ・ 高 校		氏 名	ふりがな
	該当するものに○をつけてください		学 年	年
自宅住所	ふりがな 〒 - 都 道 府 県			
電話番号	☎ - -			
学校住所	ふりがな 〒 - 都 道 府 県			
学校名 (正式名称)	ふりがな ※賞状、HP等掲載時の表記となります。 正式名称をご記入下さい。		担任名	ふりがな ※受賞等の連絡をさせていただく場合があります
電話番号	☎ - -		メール アドレス	

*1 作品は、自分の考えや体験等をエッセイとして応募者本人が自ら書いたものであり、盗作や不適切な引用等をしておらず、他の類似コンクール等で発表していないものとします。他の類似コンクール等に応募した作品は既発表とみなします。

★本用紙はコピーして使えます。

★JICA 地球ひろばのウェブサイトからもダウンロードできます。
(<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/apply/essay/collect/index.html>)

★作品の受領証は発行いたしません。



個人で応募される際にお使いください

個人応募書類②

JICA国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2023

アンケート用紙（個人）

エッセイコンテストについて

これまでにエッセイコンテストに応募したことがありますか（該当する番号に○を付けてください。）

- 1 今回が初めて
- 2 過去1～3回程度
- 3 それ以上

他のコンテストと比べてよい点、改善すべき点があれば教えてください。

()

応募動機

応募した理由は何ですか（複数回答可）

- 1 勧められて < 学校の先生・塾・家族・友人・その他 >
- 2 開発問題や国際協力に興味・関心があった
- 3 副賞が魅力的だったから
- 4 夏休みの課題として < 必須課題・任意課題 >
- 5 授業の一環として（教科：)
- 6 特別活動の一環として（具体的な活動内容：)
- 7 その他（)

広報媒体

エッセイコンテストをどのように知りましたか

- 1 ポスター、チラシ、優秀作品集を見て < ・学校で ・その他 () >
- 2 新聞・雑誌を見て < ・読売新聞 ・読売中高生新聞 ・産経新聞 ・高校生新聞 ・その他新聞 ・その他 () >
- 3 Web を見て < ・産経新聞 ・高校生新聞 ・その他新聞 ・Yahoo ニュース ・JICA ホームページ ・その他 () >
- 4 SNS を見て < ・LINE ・Twitter ・Facebook ・その他 () >
- 5 紹介 < 学校の先生・塾・家族・友人・その他 >
- 6 JICA関係者からの授業や施設訪問の時に紹介されて
- 7 過去に応募したことがあった
- 8 その他 ()

学習方法

エッセイを書くにあたって参考にしたものは何ですか（複数回答可）

- 1 学校の教科書（教科：)
- 2 学校の配布資料（どのようなものですか：)
- 3 エッセイの書き方ワークシート
- 4 新聞・雑誌
- 5 TV、ニュース記事
- 6 SNS
- 7 自分の経験・体験
- 8 家族・友人との会話
- 9 その他 ()

JICAプログラムの利用状況

これまでにJICA関係者からの授業を受けたことや、JICAの施設を訪問したことがありますか

- 1 JICA関係者からの授業を受けたことがある
- 2 JICAの施設を訪問したことがある
- 3 1、2どちらもある
- 4 1、2どちらもない

エッセイの書き方ワークシート

「エッセイ」とは、自分が体験したこと、見たり聞いたりしたことをもとに、感じたことや考えたことを自由に、思いのままに書いた文章です。

JICA のエッセイコンテストは、次の世代を担う皆さんに、エッセイを書くことを通じて国際協力などへの関心を高めてもらうために実施しています。ただし、エッセイを書くにあたっては海外留学などの特別な経験は必要ありません。学校や家庭、地域での身近な出来事を題材にしたエッセイもこれまで多く入賞してきました。まず、このワークシートを使って、自分の関心のあることや伝えたいことを整理してから、エッセイを書き始めてみましょう。



JICAエッセイ
コンテスト
過去受賞作品

2023年度募集テーマ「地球に生きる私たち～未来へつなげるために～」

1 自分のテーマ・課題を探す

これまで授業やニュースなどで見たり聞いたり、身近なところで感じたり体験した世界や開発途上国の課題（SDGs 含む）を書き出してみよう。

POINT /

- 大きなテーマでなくてもOK!
- 地域に住む外国人や留学生とのかかわり、また、新聞やテレビでみたニュース、食べ物や環境など日常から広く世界を考えてみよう。
- 学校で学んだSDGsや世界の課題についても思い出してみよう。

▶ 最も興味のあることは何だろう？ その理由や、それについての自分の気持ちや考えたことを書いてみよう

最も興味関心のあること(テーマ・課題):

2 詳しく調べてみよう

選んだテーマ・課題について、本やインターネット等で深掘りしてみよう。

POINT /

- 世界の他の国々や地域ではそれらの問題にどう対応しているのか、その国や地域についても調べて視野を広げてみよう。
- テーマに対し多角的に見てみよう。
- 自分に出来る事があるか、調べたり考えたりしてみよう。

3 提案・行動

選んだテーマや課題に対して、どんなことができるだろうか、行動に移してみよう。

POINT /

- 自分にとっては小さな行動でもOK!
- 自分の気持ちや考えを率直に書き出してみよう。

4 まとめ（ふりかえり・これから）

調べてみて、やってみて、分かったことや感じたこと、気付いたことを書いてまとめてみよう。1から3をふりかえり、これから自分にできる取り組みや行動を考えてみよう。

POINT /

- 行動や調べることを通して、新しく感じたこと、疑問に思ったことは何かな。
- 家族や友人とも話してみよう。
- 他に自分に出来る事は何だろう。他にどんな方法が考えられるかな。

5 自分の体験や想いを言葉にして、エッセイを書いてみよう

エッセイを書く際のポイント

- エッセイを通して何を伝えたいかを明確にしよう
- 過去の体験や経験を交えて書いてみよう
- 固定概念にとらわれず、思ったことを素直に書いてみよう
- 書き終えた後に読み返して、読み手に伝えたいことを伝えられているかチェックしよう

書く時の注意

- 話し言葉と書き言葉を区別しよう
例) でも→しかし やっぱり→やはり
- ら抜き言葉に気を付けよう
例) 食べれる→食べられる
寝れる→寝られる